

JTrimで遊ぶ

昨年の『JTrim による写真の加工』『JTrim で作るシンプル合成写真賀状』に続いて、今回は JTrim を使った遊びの加工を紹介します。アルバムの飾りに、絵葉書に、メールに、掲示板への投稿に楽しみを広げて下さい。ミニ講習会は2回に亘って行いますが、それでも全作品を演習する時間が足りませんので、**赤字囲み**作品のみ説明し、それ以外は自由時間での個別指導とします。手順書は全作品掲載しておりますので、各自実施してみてください。

作品 1



作品 2



作品 3



作品 4



作品 5



作品 6



作品 7



作品 8



作品 9



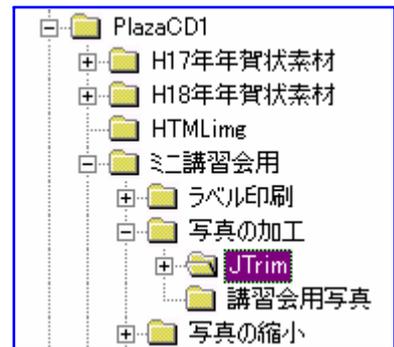
作品 10



1. 前準備（予習される方に。講習会では2から開始。）

まだ JTrim をパソコン内部に取り込んでいない方は次の方法で取り込む。

- ◆ PlazaCD1(CD2)保有者： CD 挿入 立ち上がった画面を消す スタート上で右クリック エクスプローラー CD 挿入ドライブ(通常は D もしくは E)のプラスをマイナスに PlazaCD1(もしくは CD2)のプラスをマイナスに ミニ講習会用のプラスをマイナスに 写真の加工のプラスをマイナスに JTrim フォルダをデスクトップにドロップ(出す)する。



- ◆ PlazaCD1(CD2)未保有者：インターネットからダウンロードする
検索窓に「JTrim」と入力 窓の杜 JTrim DOWNLOAD をクリック
デスクトップに保存 デスクトップに保存された jt152.exe をダブルクリック 表示される指示に従って進める(詳細省略) インストール完了後にデスクトップに残った jt152.exe を削除する。

2. 作品 1

- 1) JTrim の起動 (ピンクのカエル JTrim.exe をダブルクリック)
- 2) 写真を取り込む (予習では各自好みの写真、講習会では元画像から mati.jpg)
ファイル[メニュー] 開く 写真が保存されているフォルダ 選択
- 3) 写真を縮小する (予習時のみ)
イメージ[メニュー] リサイズ 横幅を 400(縦横の比率保持にチェックが入っていることを確認する) OK
- 4) 表示[メニュー] 背景色 紫色を選ぶ (各自好みの色選択) OK
- 5) 加工[メニュー] フェードアウト
60~70 の数値に設定 (円形フェードアウトのチェックが外れていること) OK
- 6) 完成
指定した範囲が背景色のグラデーションとして溶け込んでいきます。サンプルでは斜めサインを入れています。これは作品 6 の段階で説明します。



3. 作品 2 & 作品 3

- 1) 写真を取り込む（予習では各自好みの写真、講習会では元画像から hana1.jpg）
- 2) 写真を縮小する（予習時のみ）
 イメージ[メニュー] リサイズ 横幅
 を 400（縦横の比率保持にチェックが入っていることを確認する） OK
- 3) 背景色は白。白になっていない場合は、表示[メニュー]
 背景色 白 OK ----- 作品 3 の場合は背景色を青にする。以下同じ手順。
- 4) 加工[メニュー] フェードアウト 円形フェードアウトにチェック
 フェードする範囲(100)
 OK
- 5) 完成
 正円形にしたい場合や縦長楕円形にしたい場合は、
 予め写真を正方形もしくは縦長長方形にトリミングしておく。



4. 作品 4

- 1) 写真を取り込む（予習では各自好みの写真、講習会では元画像から hana2.jpg）
- 2) 写真を縮小する（予習時のみ）
- 3) 背景色は白。白になっていない場合は、表示[メニュー] 背景色 白 OK
- 4) 睡蓮の花の部分のトリミングする
 トリミングする左上位置から右下まで範囲選択（左クリックしながら右下までドラッグ） 切抜きボタン（もしくは、編集[メニュー] 切り取り 編集[メニュー] 貼り付け）
- 5) 加工[メニュー] ぶれ ぶれの大きさ 5 に設定 OK
 ぶれ画像完成。次に簡単な色枠を付ける
- 6) イメージ[メニュー] 余白作成 上下左右余白 5 ピクセル 余白の色をオレンジ（好みの色に） OK



7) 名前を入れる

ツールバーのA（もしくは、編集[メニュー] 文字入れ） フォント（好みの書体を クリックして選ぶ サイズ 17 スタイルB、I 透過をクリック 文字色（白） 文字入力 不透明率度 100 表示されている文字入れダイアログを消さずに、画像に挿入された文字を、好みの位置へドラッグ移動する OK

文字入れダイアログを消してからは文字は動きません。元へ戻るボタンを押してやり直す必要があります。直前に入力した文字及び設定は記憶されていますから安心して戻るボタンを押して下さい。

8) 完成



5. 作品 8

これはマスクというものを作って行うものですが、他の作品と違って何度でも使い回しが効く利点があります。お孫さんの好きなキャラクターのマスクを作ってあげたなら喜ばれるのではないのでしょうか。

- 1) キャラクターを決める（絵本、雑誌、人形を見ながらやってみましょう）
- 2) ペイントを起動： スタート プログラム アクセサリー ペイント
- 3) キャンバスのサイズを決める

加工しようとする写真の大きさに合わせる必要があります。今回準備している画像のサイズは



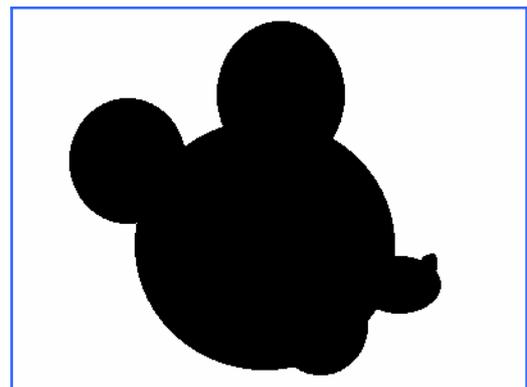
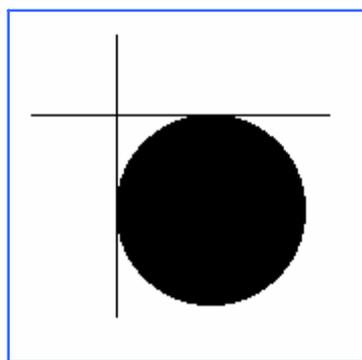
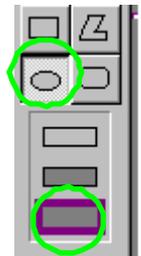
400*300 なので、そのサイズに合わせます。

変形[メニュー] キャンバスの色とサイズ 横 400 高さ 300

OK

- 4) ツールバーから、楕円、塗り潰しを選ぶ
- 5) 作図のポイント

- ◆ 下の丸絵は直線交点からスタートしたものです。ドラッグして描かれる四角の中に円（楕円）が描かれます。
- ◆ 戻るは3回までしか効きません。それ以上は消してやり直しになります。
- ◆ 重ねて描いたものの単独移動は出来ません。やり直しになります。

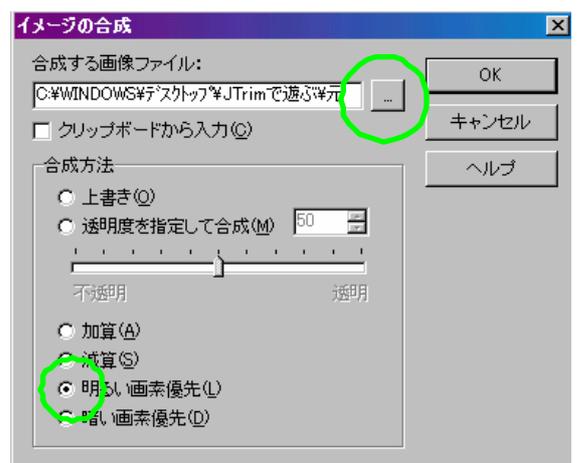


- 6) 保存： ファイル[メニュー] 名前を付けて保存 マイドキュメントのどこかにフォルダーを作って(講習会ではデスクトップに) 黒画像として保存。

- 7) JTrim を起動
- 8) 保存した黒画像（マスク）を開く
- 9) 合成に入ります

編集 合成 丸印箇所のボタンを押して合成する画像を選ぶ（講習会では hachi.jpg） 明るい画像優先にチェックを入れる OK

尚、逆手順の hachi.jpg を開いておいて、マスクを合成する手順でも可能です。

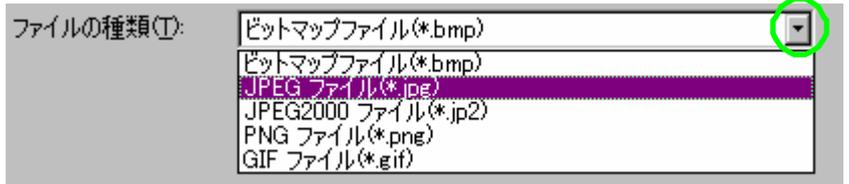


- 10) 必要な範囲だけをドラッグで囲んで、切り抜きボタンをクリック、完成。



11) 保存

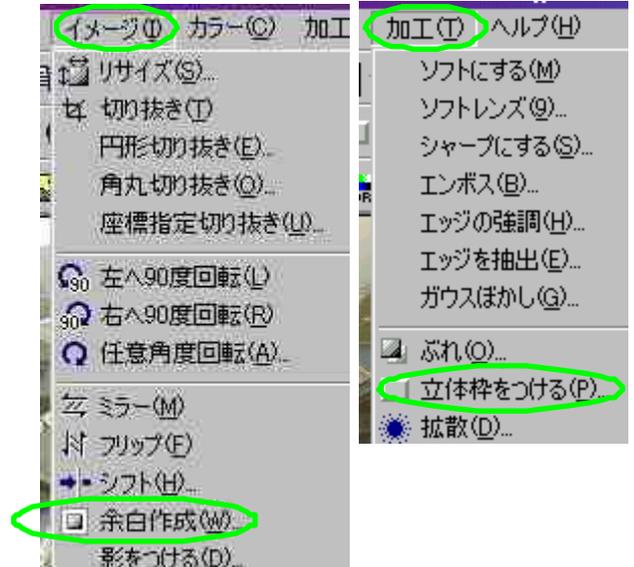
名前を付けて保存する
 のですが、JPEG を
 選んで保存した方が利
 用範囲が広がります。



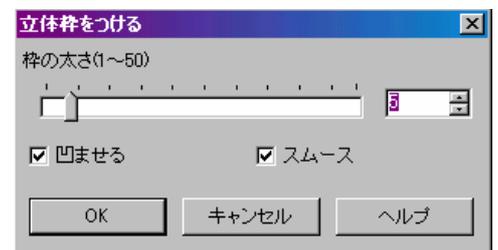
6. 作品 9

- 1) 画像を開く (講習会では machi.jpg)
- 2) 額縁を作る 5 ステップは全て右に示す「余白作成」と「立体枠をつける」の繰り返しで行います。

❖ 額縁の色はステップ 1 の段階で黄金色を選択



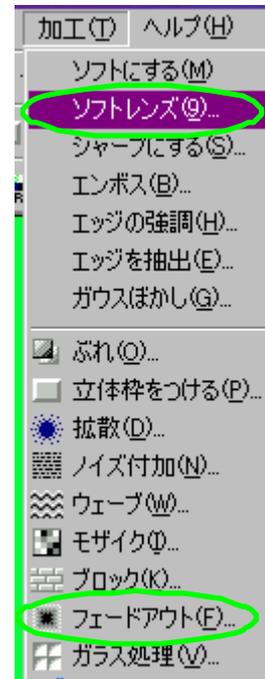
	余白	立体枠	凹	スムーズ
ステップ ° 1	5	5	凹	スムーズ
ステップ ° 2	5	5	外す	スムーズ
ステップ ° 3	5	5	凹	スムーズ
ステップ ° 4	5	5	外す	スムーズ
ステップ ° 5	18	10	外す	スムーズ



7. 作品10

これは花だけをシャープにして周りをぼかし接写写真のようにみせたもので、作品1の方法に合成を組み入れたものです。

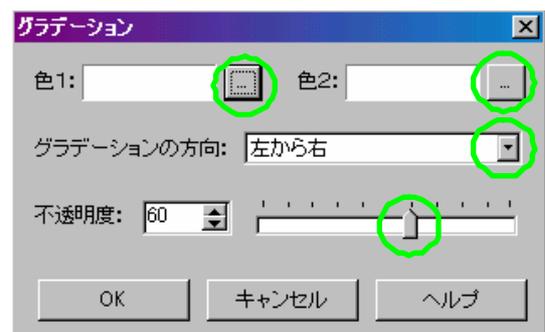
- 1) 画像を開く（講習会では hana3.jpg ）
- 2) 花を中心とする適当なサイズに切り抜く（ドラッグで囲み切抜きボタンを押す）
- 3) 花だけを選択し、コピーしておく（編集 コピー）
- 4) 編集[メニュー] 全選択 / 選択解除
- 5) 表示[メニュー] 背景色 緑
- 6) 加工[メニュー] フェードアウト（数値 20、円形のチェックを外しておく）
- 7) 加工[メニュー] ソフトレンズ（数値 6 ）
- 8) 編集[メニュー] 合成貼り付け 位置合わせ 位置確定



以下の作品は時間の関係上講習会での演習は出来ませんが、いずれも面白い作品に仕上がりますので各自トライしてみてください。尚、講習会で時間があれば模擬操作だけでも行なってみたいと考えています。

8. 作品5

- 1) 写真を取り込む（予習では各自好みの写真、講習会では元画像から hana2.jpg ）
- 2) 写真を縮小する（予習時のみ）
- 3) 背景色は白。白になっていない場合は、表示[メニュー] 背景色 白 OK
- 4) 睡蓮の花の部分をトリミングする
トリミングする左上位置から右下まで範囲選択（左クリックしながら右下までドラッグ） 切抜きボタン（もしくは、編集[メニュー] 切り取り 編集[メニュー] 貼り付け）
- 5) この画像をあとのステップの合成の為にクリップボードにコピーしておく： 編集[メニュー] コピー
- 6) グラデーション
カラー[メニュー] グラデーション
右画像と同じ状態に設定 OK
今回は色1色2共に白、グラデーションの方向も左から右を使いますが、印をクリックして色んな設定で変化を試して下



さい。

- 7) 回転
 イメージ[メニュー] 任意角度回転
 -14.8 度 (角度をメモしておくこと) OK



- 8) 合成
 編集[メニュー] 合成貼り付け
 張り付けられた画像を右図のように4面へのはみ出しが均等な位置になるところまで移動させる (ドラッグ) 位置確定をクリック



位置確定した後は動かすことが出来ません。戻るボタンで元へ戻って再度行なって下さい。

- 9) 傾きを元に戻す
 イメージ[メニュー] 任意角度回転
 +14.8 度 (前回の逆角度)
 OK

- 10) 下図のように4隅を選択してグラデーションをかけて薄くする



ドラッグで範囲選択 加工[メニュー]
 グラデーション(括弧6の設定と同じ)
 OK 4隅とも行なう。

- 11) 回転を戻す
 括弧9参照。角度は-14.8度。

- 12) サイン書き入れ
 作品4の括弧8参照。
 13) さらに傾ける
 括弧9参照。角度は自由。
 14) 切抜き
 15) 保存
 画像を3枚重ねにしたり、重ねる位置を変えても面白い。尚、回転する度に画像の鮮明度は悪くな



ってきます。

9. 作品6

写真を油絵のように仕上げる一般的なものですが、特徴は斜めの文字入れです。作品5の方法で斜め文字を入れると画像の鮮明度が崩れることから、ここでは合成による文字入れを行なっています。

- 1) 斜め文字の作成
 - 白紙画面にする（ファイル 新規作成）
 - 文字入れボタン（もしくは、編修 文字入れ）
 - 文字書き込み（作品4、括弧8参照。文字色は黒）
 - 文字回転（イメージ 任意角度回転）
 - 切抜き
 - ネガポジ反転（カラー ネガポジ反転）
 - コピー、及び、保存
- 2) 写真を取り込む（講習会では kouyou.jpg ）
- 3) 油絵風にする（カラー ポスタライズ。数値は各自好みの範囲で。尚、数値の少ないほうがより油絵風になります）
- 4) 斜め文字合成
 - 文字貼り付け位置をドラッグで囲む
 - 編修 合成（M）
 - クリックボードからにチェック 明るい画像優先にチェックを入れる OK
 - 位置が悪かったり、文字が欠けた場合は からやり直す。
- 5) 通常の文字入れ（省略）

10. 作品7

これは油絵風&ちぎり絵風の加工です

- 1) 写真を取り込む（講習会では hana4.jpg ）
- 2) 黄色の余白を付ける（イメージ 余白作成。余白18ピクセル、色黄色）
- 3) 加工 拡散（数値は4～6程度）
- 4) イメージ テクスチャ（テクスチャの選択はコンクリート壁、数値は20～30程度）
 テクスチャには色んなものが準備されていますので、どんな変化があるか楽しんで下さい。
- 5) 濃い色の余白作成（イメージ 余白作成。余白2ピクセル、濃い色）
- 6) サイン入れ（省略） 完成



JTrim にはまだ沢山の機能があります。基本はここに記載した方法ですから色々試して楽しい作品を作って下さい。